

行政の窓

木質バイオマスの安定供給対策の取組について

道内では、木質バイオマスを活用した大規模発電施設や熱利用施設の整備が進んでおります。こうした施設に燃料となる林地未利用材等を安定的に供給するため、「木質バイオマス資源活用推進事業」に取り組んでいます。

平成29年度は、林地未利用材の搬出コストの低減や、多様な輸送手段の活用など流通体制の構築、さらには、レンタル機械による集荷モデルの実証など、低コストで、より広範囲から原料を集荷するシステムの構築に向けた取組を実施します。

また、木質ペレット等の利用拡大を図るため、消費者等のニーズを踏まえ、流通コストの低減や利便性等の向上に向けた取組を進めます。

【木質バイオマス資源活用推進事業】（平成29年度実施内容）

区分	事業内容		
林地未利用材安定供給体制整備事業	搬出コストの低減	<ul style="list-style-type: none"> 伐採から地拵えまでの一連の作業において、収益を確保できる林地未利用材の集荷・搬出手法の実証、施業コストの削減効果の検証。 実証試験地において、素材生産事業者や造林事業者等地域関係者を参集した現地見学会等の開催。 (実施箇所数) 3箇所 (委託先) 民間事業者	
	流通体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 小規模分散して発生する林地未利用材を効率的に集荷・運搬するため、地域の幅広い関係者との連携により、中間集積地の設置や多様な輸送手段の活用など、搬出から運搬までの一体的・効率的な流通体制の構築について検討。 (実施箇所数) 3箇所（連携地域） (実施主体) 北海道	
	集荷モデルの実証	<ul style="list-style-type: none"> 現場状況に応じたレンタル林業機械による集荷・搬出の取組を支援し、集荷コストの分析や採算性の検証。 (補助率・補助期間) 1/2以内・最大3ヶ月 (補助対象者) 森林組合、林業者等の組織する団体、民間事業者	
木質ペレット普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 木質ペレット等の流通効率化や利便性向上を図るため、木質ペレット生産者・流通関係者等によるネットワーク会議の開催や配送実証の実施。 一般消費者を対象とした需要可能性調査の実施や各種イベント等を活用した燃焼機器の展示・セミナーの開催。 (実施箇所数) ネットワーク会議：5箇所、展示・セミナー：5箇所 (委託先) 木質ペレット生産者、流通関係者、消費者等で構成する団体		

(北海道水産林務部林務局林業木材課)